opusdei.org

待降節黙想:12月23 日

黙想の祈り: 「ヨハネの使 命」「隠れ、消えること」 「神の御業の静けさ」

ヨハネの使命

隠れ、消えること

神の御業の静けさ

「いったい、この子はどんな人になるのだろう」(ルカ1・66)。小さな村で、ザカリアとエリザベトの友人た

ちはびっくりしています。ヨハネぎの 誕生前後には不思議な事が相次を そのたびに期待が高まります。舌話も もつれが解けたばかりの 対きする言葉ですりりることを がはまするでのの人たちは、がでのの はません。周りの人たちは、がでのの ません。周の異だとを ません。の といるでのの をいるでのの をいるでのの でのの をいるでのの をいるでのの をいるでの をいると をいる をいると をいる をいると をしと をいると をいると をいると をいると をいると をいる をいる をいる をいる をいると をいる

あの村の人々は、エリザベと聞(しまれたと聞(しまれたと聞)。今年もいいかは、エリガン・58参照)。今年も、いっちものでは、ないのです。私たちはです。本語ではないでは、ないのではないではない。では、ないのではないではないではない。できるようはできるようはない。できるようはない。できるようはない。できるようはない。できるようはない。できるようはない。できるようはない。できるようはないと、エリガンをはいるには、エリガンをはいるには、エリガンをはいるには、エリガンをはいる。まれたは、エリガンを

今日の福音書が、生まれたばかりの 先駆者を見せてくれます。彼は救い。 主ではないことを承知していまりいまる人たちはそのことを答えいまりいます。 周知の方は栄え、わたりは衰えれたす。 は衰えればならない」(ヨハネ3・ は衰えればならない」(ヨハネ3・ は衰えればならない」でない。 ましたちにとって、いとのが容易でなるとを必 業にお任せするのが容易でなことを必 業におけます。 簡単ではありません。 確かに私たちは、使徒的使命を与え

何かを楽しむことは、その実りを評価している証拠です。使徒は常に実りを見ます。イエス・キリストにつ致して行うことが、穴だらけの袋して行うことがなってす。結果を見ることがなくても、楽しみつで集します。神の贖いの御業は、神秘的な形で実現されました。間も

使徒は、隠れ、消えることで、穏や かな心を保ちます。道具である事を 知っているのですから。重荷を全て 抱え込まないことをわきまえていま す。良い事があった時は、そこに神 の業を認めます。悪い事があっても うろたえません。神がなんとかして くれることを知っているからです。 しかしそれは、彼から夢や自発性を 取り除きません。一方で、緊張、苦 悶、硬直状態は取り去られます。何 か難しいことを考える度に、主に信 頼し、私たちのためではなく、他の

人々に主の幸せを届ける通路を造る ためですと、申し上げることができ ますように。

聖人たちの生活には、この謙遜な生 き様が見てとれます。イエスに倣 い、主のように神の栄光のみを望ん でいます。聖ホセマリアは両方の態 度を関係づけます。消えることは、 使命を放棄することのように考えが ちですが、そうではありません。そ れは、洗礼者ヨハネや聖人たちに見 てとれることです。謙遜でありなが ら、周りの人たちに無関心であった わけではありません。ですから聖ホ セマリアは言うことができたので す。「神のみ声を聞こうと決心して から一イエスの愛を予感したとき 一、隠れ、消えるようになる熱意を 心に感じました。つまり、illum oportet crescere, me autem minui(ヨハネ3,30)あの方は栄え、わ たしは衰えねばならない、という生 き方です。相応しいことは、自分が

表れるのではなく、主の栄光が輝きでることだから」 (3)。他の折には、より要約的な形で述べています。 「私のことは隠され消えさり、イエ

「私のことは隠され消えさり、イエ スだけが輝くように」_[4]。

ヨハネは死去に際してもキリストに 先んじました。自分の弟子たちが、 どのようにして救い主に出会い、主 と共に留まったかを知ることは、彼 にとって大きな喜びであったに違い ありません。逮捕され、処刑された とき、それは全て、神のみ旨を果た すために価値ある事だと考えまし た。しかし、救い主ご自身が、しば らく後に彼の足跡に続かれること は、分からなかったのです。洗礼者 は、女性から生まれた人の中で、 もっとも偉大な人です(マタイ11・11 参照)。それにも拘らず隠れて過ごそ うとしました。ヨハネとは、〈神に

特別に選ばれた〉と言う意味をもつ 名前です。それからすると、隠れる 時、神が彼を幸せにし、平和を与 え、楽しませてくれると言うことが できます。役目は易しくなり、責任 は軽くなります。

神のご計画は、このように、多くの 人が気づかない沈黙のうちに遂行さ れます。キリストが支配するよう に、主はそれを実践していく方法を 決めていました。十字架と苦痛に よって、全ての人々の罪を担うこと でした。神のへりくだりについての 予言が、極限なまでに実現されたの です。「神が低く下ることは前代未 聞の、これまで考えられなかった形 で実現しました。万物を手で支える かた、私たち皆がより頼む造り主 が、小さな者、人間の愛を必要とす る者となられます。神は馬小屋の中 におられます。実際神の人間に対す る愛と、人間に対する気遣いが、こ れ以上偉大で清らかなしかたで現れ

たことがあったでしょうか。なぜなら、このように低く下り、人に頼るものとなった愛以上に、気高く偉大なものがあり得るでしょうか」
い。

ナザレの慎ましいおとめマリアは、いつもイエスが主人公であられるよう望んでいました。このマリアに、私たちが、歴史を司るもっともすぐれた御方の効果的で分別ある道具になれるよう、助けて頂きましょう。

- [1] フランシスコ、説教、2015年12 月24日。
- [2] 聖アウグスティヌス、説教293。
- [3] 聖ホセマリア、1947年12月29日 手紙/1966年2月14日16番。
- [4] 聖ホセマリア、1975年1月28日手 紙。

[5] ベネディクト十六世、説教、 2008年12月25日。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/meditation/mokusou-taikou-23nichi/ (2025/12/13)